



■目立たないが、すごい

学生時代は経済学部で、インフラや経済を支える企業についても学ぶ機会があったため、就職活動を行うとき、なんとなく興味がある、知名度が高いという理由で職種を決めてしまうことに違和感を持っていました。

「大成機工」を知ったのは中小企業対象の就職合同説明会です。大成機工のブースで感じたインフラを陰で支える「目立たないが、すごい」会社だという印象が私の探していた会社像に当てはまりました。さらに高い技術力を有し、業界に普遍的に存在する姿に好感を持ってたことも入社を決めた

「大成機工」を知ったのは中小企業対象の就職合同説明会です。大成機工のブースで感じたインフラを陰で支える「目立たないが、すごい」会社だという印象が私の探していた会社像に当てはまりました。さらに高い技術力を有し、業界に普遍的に存在する姿に好感を持ってたことも入社を決めた

■文系でも施工管理に

入社後、1年の研修を経て営業部に配属になりました。土木工事は自然現象に左右されやすく、現場を取り巻く環境はめ

# 普遍的に求められる技術

大成機工 東京支店 工事本部工事部 主任

## 古賀 明日翔さん

まぐるしく変化します。完璧に打ち合わせを行ったつもりでも、予期せぬところから問題が発生し、打ち合わせ通りに終わる現場はほとんどありませんでした。

特に、印象に残っているのは富津市の漏水対応です。仕事納めの日に私が一報を受け、そこから漏水箇所の特定、修繕など骨の折れる現場でした。しかし、断水で困っている住民のために早急に復旧しなければと技術部や工事部、業者の方々に力を借りながら臨機応変に対応し、無事に工事

を終えた時は非常に嬉しかったです。こうした経験を経て、昨年4月から工事部に所属しています。文系出身で現場経験のない私にとって施工管理という分野に異動希望を出すことは大きなチャレンジでした。

やりたいことを見つけて、やるべきことがなかった就活時代から、自分のためになることへひるまず挑戦していきたいと思うようになったのは、4年間の営業活動を通して知った当社の確かな技術力と実績があったからです。

現場調査、測量、CAD等、1つの狂いも許さない

世界で、スキルアップに努め、早くプロとしての仕事をできるよつになりたいです。施工現場においても文系出身者が活躍できると知ってほしいです。

■入社後何が

できるか

現在国内で行われている水道管の耐震化、布設替工事には必ずと言っていいほど、当社の製品がかわっています。今後、水道管の維持管理が形を変えていくことも、必ず大成機工の技術力や対応力は現場に必要不可欠であると自負しています。

就職活動の際、やりた

いことから会社を見つけて、自分も新たなチャレンジを尊重してくれた会社に貢献するべく尽力しています。



就職活動の際、やりた

いことから会社を見つけて、自分も新たなチャレンジを尊重してくれた会社に貢献するべく尽力しています。